

1. オリエンテーション(市からの情報提供)

- ・第3回会議のテーマ「安全・安心なまちをつくるために」に関する情報提供を、統計データや市民アンケートの結果をもとに行いました。

2. グループワーク

前提条件

- ・以下2点の課題について、市の宝もの・問題もの、市民・行政の役割を検討しました。

- ・安心・安全に住み続けられるまちにするためにはどうすれば良いか。
- ・快適・便利に暮らせるまちにするためにはどうすれば良いか。

- ・グループワークは前回同様、2班(A班、B班)に分かれ実施しました。



グループ内での検討風景



会議の全景

検討結果

- ・検討した結果、以下のような主な意見がありました。

	宝もの・問題もの(ご意見の一部を紹介します)
安心・安全に住み続けられるまちにするためにはどうすれば良いか	・地域に顔見知りが多く、つながりがしっかりしている
	・PTAによる通学路のパトロールや、地域での登下校の見守りなどの仕組みがある
	・災害弱者に対するサポート体制が出来ていない
快適・便利に暮らせるまちにするためにはどうすれば良いか	・近隣の県へのアクセスは良いが、都内へのアクセスが良くない
	・高齢者や子どもが安心して歩ける道路整備が必要である
	・公共施設や病院等に行きやすい公共交通(バス)が必要である



	役割(ご意見の一部を紹介します)
主な市民の役割	・災害時を想定した市民主体の防災ワークショップを開催する
	・ハザードマップの研究会を立ち上げる
	・災害に関する市民と行政の意見交換会を行う
主な行政の役割	・自治会組織の活性化に向けた支援を行う
	・時間やコースなど、市内循環バスの見直しを行う
	・生活道路について、狭い道路を長期計画をたてて、計画的に拓げていくことが必要である